

入会のご案内

年会費

正会員	5,000円
学生会員	2,000円
ジュニア会員	1,000円
賛助会員(1口)	5,000円

※いずれも入会金不要

会員の種別の詳細はホームページを
ご覧ください。

入会手続き



QRコードよりホームページに
アクセスして「会員登録申請ページへ」
から申し込みください。

会員の特典

- 学会主催の大会・研修会を会員割引で参加することができます。
- ニュースレター・メーリングリストにより会員限定の情報を得ることができます。
- 学術誌に論文を投稿することができます。



日本吃音・流暢性障害学会

Japan Society of Stuttering and Other Fluency Disorders

すべての声が、未来をつくる

— 吃音に向き合うすべての人と、ともに歩む学会 —

学会公式サイト

<http://www.jssfd.org/>



学会事務局(E-mail)

office@jssfd.org

学会公式SNS



@jssfd_kouhou



@jssfd2013



Japan Society of Stuttering
and Other Fluency Disorders

日本吃音・流暢性障害学会とは、
吃音およびその他の流暢性障害に関する
研究を通じて、臨床の進歩・発展を促し、
これらの障害をもつ方々のQOL(生活の質)の
向上を目指すことを目的とした学会です。
学会には研究者や臨床家だけでなく、
当事者の方々も多数参加しており、
さまざまな立場から活発な意見交換が
行われています。

同じ志を持つ皆さまのご入会を、
心よりお待ちしております。

発話流暢性の障害

吃音

吃音とは、発話の流暢性を妨げる特徴的な症状がでやすく、口頭でのコミュニケーションが困難になる状態のことを言います。一般的には「どもる」とも言われます。発症の原因はほぼ本人の生まれつきの体質によるもので、育て方は原因にならないことがわかっています。

発達性吃音

吃音という、一般的には「発達性吃音」を指すことが多く、これは主に子どもの言語が発達する2歳から5歳ごろに始まります。発症率は8%程度ですが、その後自然に改善するケースも少なくなく、吃音が継続して見られる人の割合（有病率）は約1%となっています。吃音が持続すると、発話の問題だけでなく、発話場面やコミュニケーション場面を避けるといった心理的な進展を伴うこととなります。

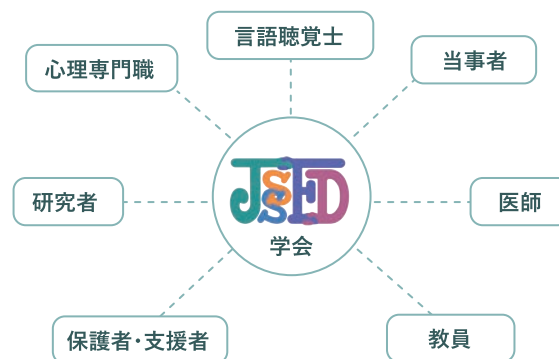
獲得性吃音

獲得性吃音は発達性吃音以外の吃音を指します。例えば、ストレスなどが原因で後天的に生じる心因性吃音や、脳損傷後に生じる神経原性吃音などがあります。

クラタリング（早口言語症）

クラタリングは発話が速いか、不規則に速度が変わるために、不明瞭な発話になり内容が伝わりにくいことを特徴とします。吃音の約10～30%にクラタリングとの合併を認めるというデータがあります。

学会の特色



本学会は、2003年に『吃音を語る会』として発足し、2013年に学会組織となりました。

「語る会」から、つながる現在

前身である「吃音を語る会」では、当事者が語り、想いを共有し、発信してきました。その歴史は今も受け継がれ、研究や臨床の現場で、当事者の経験がかけがえのない学びとなっています。

「声」を聴くことから、すべてが始まる

吃音に関する研究・支援の中核には、「当事者の声」があります。国連の障害者権利条約が掲げる「Nothing About Us Without Us」——私たちのことを、私たち抜きに決めない」。その理念を、形にしているのが私たちの学会です。本学会には、当事者も多数参加しており、自助団体と協働したシンポジウムも開催されています。

世界をつないだ広島大会

2018年、私たちは「吃音・クラタリング世界合同会議 in Japan 2018」を広島で開催しました。テーマは「科学と吃音コミュニティ：ことばがつなぐ1つの世界」。研究者・臨床家・当事者・家族が、国境を越えて語り合い、「ことば」が人と人をつなぐ力を、世界に示しました。この大会は、様々な立場の人たちによる対等な学びと対話の姿勢が国際的に評価された象徴的なできごとでした。

私たちのめざすもの

それは、吃音に向き合うすべての人がともに学び、ともに語り合い、ともに未来を創る「ひらかれた学びの場」。この学会が、その舞台であり続けます。

学会の活動内容

大会・研修会

吃音及びその他の流暢性障害に関する大会の開催を年に1回（7～10月頃）、その他研修を開催しています。大会では研究発表やシンポジウムだけでなく、初心者向け臨床セミナーも開催されています。

ニュースレターの発行

年3回会員向けの情報発信を行っています。内容は、会員などが吃音に関する経験や意見を執筆した「エッセイ」や、注目される話題を紹介する「ホットニュース」、「論文の紹介」などです。会員限定でアーカイブを見ることができます。

学術誌の発行

最新の研究論文が紹介される学術誌「吃音・流暢性障害学研究」をオープンアクセスのオンライン・ジャーナルとして発行しています。

吃音臨床の手引き

はじめて吃音の臨床を行う人などに向けて、幼児期から学童期を中心にした初回面談の組み立て方等を示した手引きを作成し、公開しています。詳しくはHPをご覧ください。

寄付について

本会では、寄付の募集を行っています。本会への寄付をご希望される方は、事務局までお問い合わせください。折り返し、寄付のお手続のご案内を郵送いたします。なお、当学会への寄付金は所得控除及び税額控除の対象にはなりません。